

航空燃料の安定供給に関する緊急要望

国際航空路線については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う運休を経て、現在、地方空港においても、復便に加え、増便及び新規就航（以下「復便等」）が行われているところであるが、航空燃料の供給量が不足しており、石油元売会社から航空会社への航空燃料の供給について困難な状況が生じている。

政府は、令和5年3月に「持続可能な観光」、「消費額拡大」、「地方誘客促進」をキーワードとして「観光立国推進基本計画」を閣議決定し、インバウンドを我が国成長戦略の柱及び地域活性化の切り札であるとしているが、国際航空路線の復便等は、この成長戦略の大前提となるものである。

航空会社に復便等の意向があるにも関わらず、航空燃料の供給不足が原因でこれに対応できないことは、経済成長のけん引役として期待されるインバウンド需要の回復を妨げ、空港利用者の利便性を阻害することになるため、早急に、国においてこの課題を解消いただきたく、下記事項について要望する。

記

航空燃料の安定供給

全国各地での製油所統廃合や航空燃料を国内各地へ運ぶ内航船の不足、タンクローリーの人手不足など、考えられる供給不足要因を究明し、航空需要に即した航空燃料の安定的な供給ができるよう、必要な措置を早急に講じること。

令和6年7月2日

全国知事会 国土交通・観光常任委員会
委員長 新潟県知事 花角 英世